

# 漁海況月報

令和4年7月1日

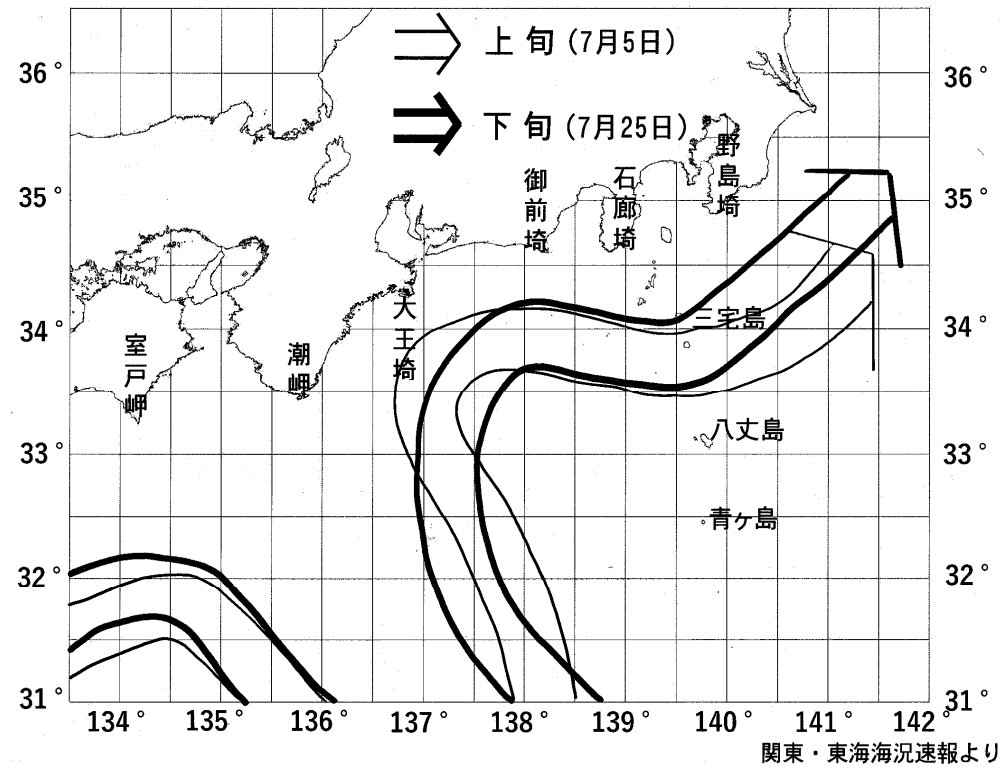
No. 7 ~7月31日

静岡県水産・海洋技術研究所

(電話 054-627-1815)

静岡県水産・海洋技術研究所 伊豆分場

(電話 0558-22-0835)



関東・東海海況速報より

7月定地水温の旬平均値(°C) (下段は平年値\*からの偏差)

期間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津
上旬	23.2	22.3	21.9	24.0	25.5	24.5
	1.2	1.3	1.2	1.4	2.1	1.7
中旬	24.5	23.4	23.3	24.9	25.0	24.7
	1.7	1.5	1.8	1.0	0.7	0.9
下旬	24.6	22.9	23.3	25.9	26.6	25.3
	0.5	-0.2	0.4	1.0	1.3	0.3
月	24.1	22.9	22.9	24.9	25.7	24.9
	1.1	0.9	1.1	1.1	1.4	1.0

\*平年値：1990-2021年の31年平均値

## 【黒潮流路】

7月を通じてA型で、潮岬沖で大きく離岸した後、遠州灘沖まで北上する流路となった。

上旬は潮岬沖30.0°N付近まで大きく離岸し、遠州灘沖34.0°Nまで北上した。その後東進し、三宅島～八丈島間を通過して北東に流去した。一時的に大王崎沖の黒潮屈曲部から熊野灘に向けて暖水波及が見られた。

及が見られた。

中旬は熊野灘沖30.0°N付近まで大きく離岸し、遠州灘沖34.0°Nまで北上した。その後東進し、三宅島付近を通過して北東に流去した。大王崎沖の黒潮屈曲部から熊野灘、遠州灘沖に向けて、石廊崎沖の黒潮北縁から大島西水道に向けて暖水波及が見られた。

下旬は熊野灘沖30.0°N付近まで大きく離岸し、遠州灘沖34.0°Nまで北上した。その後東進し、三宅島付近を通過して北東に流去した。大王崎沖の黒潮屈曲部から熊野灘、遠州灘沖に向けて、石廊崎沖の黒潮北縁から大島西水道に向けて暖水波及が見られた。

## 【沿岸域水温】

上旬は伊東、稲取、下田、雲見で「やや高め」、沼津、焼津で「高め」であった。中旬は雲見、沼津、焼津で「やや高め」、伊東、稲取、下田で「高め」であった。下旬は稲取、下田、焼津で「平年並み」、伊東、雲見、沼津で「やや高め」であった。

## 【竿釣カツオ】

7月の県内主要5港(沼津、清水、焼津、小川、御前崎)における近海及び沿岸竿釣り船によるカツオの水揚げは52.5トンで前年同月(165.4トン)の32%であった。平均単価は592円/kgで前年同月(212円/kg)を大きく上回った。

漁場は33-34°N、138-139°Eの伊豆諸島周辺海域などで、御前崎港に水揚げされたカツオの尾叉長組成は極小(尾叉長39cm)を主体に、特大(尾叉長67cm)などであった。

竿釣り(近海+沿岸船)カツオ水揚量(県内主要5港)

期間	水揚量(トン)	水揚隻数	平均水揚量/隻(トン)	平均単価(円/kg)
R4年7月上旬	21.3	6	3.6	587
中旬	16.2	5	3.2	515
下旬	15.0	6	2.5	681
R4年7月計	52.5	17	3.1	592
R3年7月計	165.4	31	5.3	212
R2年7月計	141.2	55	2.6	512

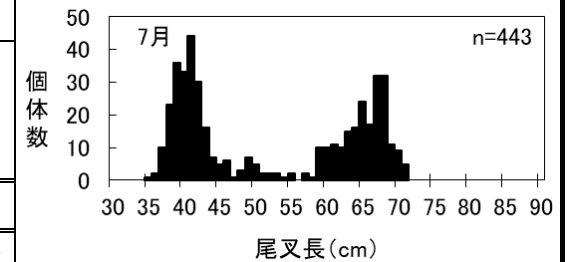


図 御前崎港で測定したカツオの尾叉長組成

## 【定置網】

伊豆半島東岸大型定置網7か統(伊豆山、古網、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津)の水揚げ量は208.9トンで、前年(131.2トン)の1.6倍で、平年(287.7トン)の73%であった。また、1か統あたりの水揚げ量は29.8トン(前年:18.7トン、平年:41.1トン)であった。水揚げ量の多い漁場は、古網漁場(44.5トン、さば類、マアジ、マイワシ)、次いで伊豆山漁場(43.7トン、さば類、マアジ、マイワシ)であった。

多獲された魚種の水揚げ量は次頁の表のとおりで、さば類は106.5トンで、前年比1.5倍、平年比1.1倍であった。水揚げされたさば類のうち、マサバは0.5トンで、前年比2%、平年比5%、ゴマサバは106トンで、前年比2.4倍、平年比1.1倍であった。マアジは34.3トンで、前年比4.2倍、平年比1.4倍であった。マイワシは15.7トンで、前年比10.5倍、平年比40%であった。ブリは10.7トンで、前年比1.6倍、平年比61%であった。銘柄わらさが主体(9.7トン)であった。ウルメイワシは7.7トンで、前年比5.1倍、平年比1.2倍であった。

多獲された魚種の主な漁場は、次頁の表のとおりで、各漁場の水揚げ量の割合は、さば類では古網漁

場が21% (21.8トン)、北川漁場が18% (19.1トン)、富戸漁場が16% (16.6トン)、伊豆山漁業が15% (16.0トン)、マアジでは古網漁場が28% (9.7トン)、伊豆山漁場が24% (8.1トン)、北川漁場が19% (6.7トン)、マイワシでは伊豆山漁場が45% (7.0トン)、古網漁場が33% (5.2トン)、ブリでは赤沢漁場が52% (5.6トン)、伊豆山漁場が29% (3.1トン)、ウルメイワシでは伊豆山漁場が65% (5.0トン)、富戸漁場が19% (1.5トン)、古網漁場が15% (1.2トン) を占めた。

\* 平年：昭和57年～令和3年の平均値

多獲された魚種の水揚量と主な漁場

魚種	水揚量(トン)	前年比	平年比	主な漁場
さば類	106.5	1.49	1.05	古網、北川、富戸、伊豆山
マアジ	34.3	4.19	1.40	古網、伊豆山、北川
マイワシ	15.7	10.51	0.40	伊豆山、古網、
ブリ	10.7	1.55	0.61	赤沢、伊豆山
ウルメイワシ	7.7	5.18	1.19	伊豆山、富戸、古網

【サバたもすくい】

小川港所属の棒受網漁船は月を通じてたもすくい主体で操業し、漁場は月を通じて大島千波に形成された。水揚量はゴマサバ366トン(前年同月比4.8倍)であり、1隻あたり水揚量は13.1トン(前年同月比1.7倍)であった。マサバの水揚は無かった(前年同月水揚無し)。

平均単価は、151円/kgで前月(120円/kg)、前年同月(123円/kg)を共に大きく上回った。

水揚物の体長組成は、29cmと32cmにモードを持つ2峰型を示した。

小川港 さば類(たもすくい漁業)水揚量

期間	水揚量(トン)		水揚日数	水揚隻数	水揚/隻(トン)		平均単価(円/kg)		漁場
	マサバ	ゴマサバ			マサバ	ゴマサバ	マサバ	ゴマサバ	
R4年7月上旬	-	193	6	11	-	17.5	-	156	大島千波
中旬	-	104	5	9	-	11.6	-	140	大島千波
下旬	-	69	5	8	-	8.6	-	152	大島千波
R4年7月計	-	366	16	28	-	13.1	-	151	大島千波
R3年7月計	-	77	6	10	-	7.7	-	123	ひょうたん瀬
R2年7月計	0	271	10	24	0	11.3	332	132	三宅、大室出し、利島北部、高瀬、ひょうたん瀬

\*水揚量については、旬ごと、魚種ごとに四捨五入しているため月計と一致しないことがある。

【シラス船曳網】

県内主要6港における1日1か統当りの水揚量は、駿河湾(静岡、吉田)が149kg、遠州灘(御前崎、福田、舞阪、新居)が134kgであった。平均水揚量は142kgと前年同月(276kg)の51.5%、平年同月(過去5か年平均:303kg)の46.9%であった。また、総水揚量は175.6トンで前年同月(677.8トン)の25.9%、平年同期(521.9トン)の33.6%と、前年同月、平年同月を大きく下回った。平均単価は1,226円/kgと、前年同月(823円/kg)の1.5倍、平年同月(1,013円/kg)の1.2倍と、前年同月、平年同月を大きく上回った。

主要6港のシラス水揚量(主要6港)

漁港	水揚量(トン)	延日数	延統数	平均水揚量(kg/統)	平均単価(円/kg)	
遠州灘	新居	8.0	7	57	141	917
	舞阪	26.5	8	239	111	1,127
	福田	20.5	8	166	123	1,179
	御前崎	21.9	12	114	192	1,070
駿河湾	吉田	80.3	16	410	196	1,258
	静岡	18.4	16	251	73	1,608
R4年7月計	175.6	67	1,237	142	1,226	
R3年7月計	677.8	111	2,460	276	823	
R2年7月計	680.0	75	1,741	391	818	

\*各港の数値は四捨五入しているため、各港合計と月計の値は一致しない場合がある。

\*平年：過去5か年(平成29～令和3年)平均値

【まき網(いわし類)】

マイワシの水揚量は、沼津港では57.3トン(前年同月比2.4倍、平年同月比98.8%)、小川港では1.7トン(前年同月比32.1倍、平年同月比25.2%)、伊東港、静浦港では水揚げがなかった。カタクチイワシは、沼津港では5.5トン(前年同月比3.6倍、平年同月比22.8%)、伊東港、静浦港、小川港では水揚げがなかった。

なお、伊豆半島東岸の大型定置網7か統の水揚量は、マイワシは15.7トン、カタクチイワシは0.1トンであった。

\*平年：過去5か年(平成29～令和3年)平均値

【調査船駿河丸の動向】

7月1日	～	7月1日	水質調査(環境衛生科学研究所)	(1日間)
7月4日	～	7月5日	地先定線観測調査	(2日間)
7月11日	～	7月11日	MaOI 深海採水調査	(1日間)
7月20日	～	7月21日	サクラエビ卵・幼生調査	(2日間)
7月25日	～	7月26日	キンメダイ親魚採捕調査	(2日間)
7月27日	～	7月28日	MaOI プランクトン調査	(2日間)

静岡県水産・海洋技術研究所のホームページ

パソコンからは..... <https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/>

携帯電話からは..... <https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/mobile/>

右のQRコードをご利用ください。人工衛星NOAAの海面水温分布画像と関東・東海海況速報を見ることができます。

